

令和6年度

観音寺第一高等学校 同窓会
京阪神支部 総会・懇親会

☆ 日 時 令和6年11月9日(土)
12時～14時30分

第1部 総会 12:00～12:30
第2部 懇親会 12:30～14:30

☆ 会 場 北京料理 徐園
3階 『光明の間』

1. プ ロ グ ラ ム
2. ご 来 賓 名 簿
3. 会 員 出 席 者 名 簿
4. 物 故 者 名
5. 決 算・予 算 報 告
6. 役 員 名 簿
7. 校 歌(三中、三女、観一)

令和6年度 観一高同窓会京阪神支部 総会・懇親会

< プ ロ グ ラ ム >

第一部 【総会】 12:00~12:30	司会	秋山 寿之 (観一 24回)
1 開会の挨拶		秋山 寿之
2 物故者慰霊黙禱	(司会)	
3 会長の挨拶		小山 正辰 (観一 22回)
4 来賓挨拶		
① 同窓会本部 副会長		藤村 育雄 (観一 26回)
② 本校 校長		小山 圭二 (観一 34回)
③ 来賓紹介		
【議事】		
1 令和5年度活動報告・決算報告 (副幹事長)		森 広志 (観一 32回)
2 令和5年度監査報告 (監事)		石川 恒 (観一 24回)
3 令和6年度予算報告 (副幹事長)		森 広志 (観一 32回)
第二部 【懇親会】 12:30~14:30	司会	川下 正輝 (観一 27回)
1 幹事長挨拶 (幹事長)		藤田 修一 (観一 16回)
2 乾杯 (副会長)		大西 寛文 (観一 15回)
3 テーブル写真撮影		
4 じゃんけん大会		川下 正輝 (観一 27回)
・味のちぬや賞 <冷凍食品詰合せ>	景品ご提供・ご協力者:	味のちぬや様
・三好 兼光賞 <伊吹いりこ>	景品ご提供・ご協力者:	伊吹 三好兼光様
5 来賓記念写真撮影		
6 校歌斉唱 (CD演奏)	観音寺第一高等学校	校歌
7 閉会の辞と締め (相談役)		高橋 憲一 (観一 14回)

令和6年度 観一高同窓会京阪神支部総会 出席者名簿

〈ご来賓〉

No	役 職	氏 名	卒 業 年 次	テーブルNo
1	本 校 校 長	小 山 圭 二	昭58年 第34回	A
2	本 部 副 会 長	藤 村 育 雄	昭50年 第26回	A
3	本 部 事 務 局 長	藤 川 剛	昭50年 第26回	B
4	本 部 事 務 局 次 長	田 中 靖	昭27年 第27回	B
5	東 京 支 部 長	青 山 秀 彦	昭47年 第23回	A
6	岡 山 支 部 長	尾 崎 美 樹	昭55年 第31回	B

〈会 員〉

No	卒業年次・回次		氏 名	出 身 地	テーブルNo
7	昭和25年	第 1 回	井 上 理 文	豊 浜	C
8	昭和25年	第 1 回	岩 田 光 晴	桑 山	C
9	昭和27年	第 3 回	大 西 玲 子	柞 田	C
10	昭和29年	第 5 回	森 口 郁 子	一ノ谷	C
11	昭和31年	第 7 回	長 谷 川 光 雄	観 音 寺	C
12	昭和32年	第 8 回	茨 木 武 雄	大 野 原	C
13	昭和32年	第 8 回	秋 山 恵 美 子	山 本	D
14	昭和32年	第 8 回	斉 藤 博	観 音 寺	D
15	昭和32年	第 8 回	川 原 重 子	室 本	D
16	昭和32年	第 8 回	川 邊 敬 祐	仁 尾	D
17	昭和32年	第 8 回	泉 妙 子	観 音 寺	D
18	昭和32年	第 8 回	畠 中 康 行	豊 中	D
19	昭和32年	第 8 回	木 下 雅 道	観 音 寺	D
20	昭和34年	第 10 回	井 上 美 沙 子	柞 田	E
21	昭和34年	第 10 回	高 津 光 雄	山 本	E
22	昭和34年	第 10 回	大 西 富 子	山 本	E
23	昭和34年	第 10 回	片 桐 陽	山 本	A
24	昭和35年	第 11 回	小 野 喬 啓	豊 中	E
25	昭和35年	第 11 回	合 田 洋 一	観 音 寺	E
26	昭和35年	第 11 回	三 好 孝 夫	室 本 町	E
27	昭和35年	第 11 回	渡 辺 紘 一	室 本 町	E

No	卒業年次・回次		氏名	出身地	テーブルNo
28	昭和36年	第12回	安達典子	高屋	F
29	昭和36年	第12回	奥藤和	観音寺	F
30	昭和36年	第12回	田井次郎	豊中	F
31	昭和37年	第13回	加島聰	観音寺	F
32	昭和37年	第13回	高畑紘志	山本	F
33	昭和38年	第14回	高橋憲一	柞田	B
34	昭和38年	第14回	合田和義	伊吹	F
35	昭和38年	第14回	川内清子	観音寺	F
36	昭和39年	第15回	横田悠子		G
37	昭和39年	第15回	石井泰永	観音寺	G
38	昭和39年	第15回	曾根徹		G
39	昭和39年	第15回	大西寛文	観音寺	A
40	昭和39年	第15回	中野祥蔵	室本	G
41	昭和39年	第15回	福田有治	有明	G
42	昭和39年	第15回	野口泰孝	柞田	G
43	昭和40年	第16回	大西和明	川之江	G
44	昭和40年	第16回	藤田修一	大野原	B
45	昭和41年	第17回	森正樹	観音寺	H
46	昭和41年	第17回	白石憲二	仁尾	H
47	昭和42年	第18回	今川美佐子	粟井	H
48	昭和43年	第19回	細川昭夫	豊中上高野	H
49	昭和43年	第19回	三好正和	山本	H
50	昭和43年	第19回	田中道雄	柞田	H
51	昭和43年	第19回	鈴木マチコ		H
52	昭和45年	第21回	田井浩一	観音寺	I
53	昭和46年	第22回	細川直哉	観音寺	I
54	昭和46年	第22回	秋山茂之	観音寺	I
55	昭和46年	第22回	安藤久志	観音寺	I
56	昭和46年	第22回	小山正辰	豊浜	A
57	昭和47年	第23回	高橋俊二	観音寺	I
58	昭和47年	第23回	山下恵利子	豊浜	I
59	昭和47年	第23回	正原好子		I

No	卒業年次・回次		氏名	出身地	テーブルNo
60	昭和48年	第 24 回	糸川英男	山本	J
61	昭和48年	第 24 回	秋山寿之	観音寺	J
62	昭和48年	第 24 回	石川恒	観音寺	J
63	昭和49年	第 25 回	原昌三	山本	J
64	昭和49年	第 25 回	薦田昌史		J
65	昭和49年	第 25 回	長野寛之	観音寺	J
66	昭和51年	第 27 回	川下正輝	財田	K
67	昭和56年	第 32 回	藤田真人		K
68	昭和56年	第 32 回	森広志	観音寺	K
69	昭和58年	第 34 回	上田憲	豊中町	K
70	昭和60年	第 36 回	橋田雄毅		K
71	昭和60年	第 36 回	藤田健人	観音寺	K
72	平成8年	第 47 回	木下幹支		K

《物故者》

令和5年4月1日以降、令和6年9月30日までに判明した物故者は次のとおりです。
 会員の皆様とともに、心から哀悼の意を表し、ご冥福をお祈りいたします。

(敬称略)

卒年	お名前(かっこ内は旧姓)	逝去日
昭15中	藤原 芳夫	令和3年3月19日
昭17中	野田 幸三	令和4年6月27日
昭18女	山路 千恵子	令和4年5月7日
昭20中	東 忠	令和5年2月2日
昭20中	岡部 俊嗣	令和4年1月5日
昭22女	橋本 (吉川) 久子	令和5年12月11日
昭23中	河田 一幸	令和5年2月17日
昭24三高	安藤 俊一	令和3年7月20日
昭24女	久保 定子	令和4年12月7日
昭24女	楠本 (森) 昌子	令和4年5月2日
昭24併	石川 安一	令和3年3月20日
昭25高	斎藤 定康	令和5年2月13日
昭26高	後藤 (資延) 照代	令和4年11月13日
昭26高	新井 (鴨田) 佳子	令和5年3月28日
昭27高	泉宮 頼夫	令和4年2月25日
昭27高	奥平 (小畑) 一子	令和3年2月3日
昭27高	守谷 弘	令和5年6月5日
昭27高	森 弘和	令和5年12月11日
昭27高	守谷 弘	令和5年6月5日
昭28高	井崎 (石川) 昌代	令和5年4月18日
昭28高	井下 勝男	令和4年4月26日
昭28高	高城 営	令和6年5月23日
昭29高	小菅 (安藤) 甫子	令和4年9月12日
昭29高	三谷 宏	令和6年1月28日
昭30高	片桐 佳行	令和5年2月1日
昭30高	森 一悦	令和5年3月11日
昭31高	高橋 正春	令和5年3月16日
昭31高	久保 憲明	令和4年11月16日
昭31高	小西 (木村) 久栄	令和5年11月45日
昭31高	大西 (荻田) 久子	令和4年2月10日
昭32高	小山 修三	令和4年10月26日
昭32高	筒井 實	令和5年5月22日
昭32高	安藤 進	令和5年11月3日
昭33高	大西 勝	令和5年3月
昭33高	西庄 俊三	令和5年12月1日
昭33定	久保田 徹	令和4年10月12日
昭34高	田中 邁	令和6年8月10日
昭34高	片桐 (石川) シズ子	令和4年12月20日
昭35高	田中 勝義	令和6年1月26日
昭35高	井下 (合田) 淑代	令和6年1月26日
昭35高	合田 厚生	令和5年9月16日
昭36高	白川 (宮武) 一恵	令和5年1月21日
昭36高	高橋 省三	令和2年6月7日
昭37高	沖田 (藤川) 百合子	令和元年8月28日
昭38高	宮武 (細川) 晃代	令和元年11月26日
昭38高	西山 (小西) 貴美子	令和5年1月2日
昭38高	岡田 弘志	令和2年2月28日

卒年	お名前(かっこ内は旧姓)	逝去日
昭39高	田中 (安部) ミサヲ	令和6年3月3日
昭40高	片山 博視	令和4年7月4日
昭40高	中須 (藤岡) 美恵子	令和5年12月13日
昭42高	永田 寿恵美	令和2年3月12日
昭42高	香川 幹夫	令和6年7月10日
昭45高	三好 理化夫	令和4年5月20日
昭45高	吉川 (石川) 晋子	令和4年9月
昭46高	伊達 道明	令和2年4月30日
昭50高	河津 (新延) 陽子	令和3年6月22日
昭56高	橋田 利明	令和4年8月17日

令和5年度会計報告

観一高同窓会京阪神支部 (R5.4.1~R6.3.31)

収 入 の 部 (円)

科 目	金 額	摘 要
年会費収入	764,500	2,500円×305名+2,000円×1名
総会会費収入	815,000	8,000円×97名、5,000円×7名、1000円×4名
役員会会費収入	177,000	
広告・協賛収入	781,000	巨龍広告14件530,000円・協賛金28件251,000円
寄付金収入	90,000	総会祝儀、寄付
雑収入	73	預金利息
当期収入計	2,627,573	

支 出 の 部 (円)

科 目	金 額	摘 要
総会費	1,053,195	参加総数109名 会場費、料理代、景品代、土産代ほか
役員会費	241,620	参加数37名 (北京料理「徐園」)
巨龍刊行費	1,199,000	1,100冊 製作費、発送費ほか
事務所賃借料	120,000	10,000円×12月
事務費・発送費	369,665	各種案内状等印刷・発送費ほか
支払手数料	55,253	年会費等振込口座手数料ほか
通信費	47,930	電話代
交通費	177,800	本部・他支部総会・幹事会 交通費
支部HP管理費	37,508	ホームページ維持・管理費
慶弔費	50,000	本部、東京・高松・岡山各支部 総会祝儀
雑費	12,042	本校、協賛企業4社挨拶手土産
当期支出計	3,364,013	

当期収支差額	-736,440
前期繰越収支差額	4,582,830
次期繰越収支差額	3,846,390

財 産 目 録 (円)

科 目	金 額	摘 要
現金	11,313	
振込口座	14,178	年会費・広告料等受入口座
普通預金	322,246	百十四BK2,495円、香川BK2,026円、ゆうちょ317,725円
定期預金	3,500,000	香川BK200万円、百十四BK150万円
備品	1	中古キャビネット
未払費用	-1,348	R6.3月分電話代
計	3,846,390	

監 査 報 告

監査の結果、正確かつ妥当であることを確認しました。

令和6年4月6日

石川 恒



令和6年度予算(案)

観一高同窓会京阪神支部 (R6.4.1~R7.3.31)

収入の部 (円)

科目	金額	摘要
年会費収入	900,000	2,500円×360名
総会会費収入	720,000	8,000円×90名
役員会会費収入	175,000	5,000円×35名
広告・協賛収入	800,000	巨龍広告料・協賛金
寄付金収入	100,000	総会祝儀、寄付
当期収入計	2,695,000	

支出の部 (円)

科目	金額	摘要
総会費	720,000	会場費・料理代,景品代ほか
役員会議費	175,000	会場費、食事費用ほか
巨龍刊行費	1,000,000	巨龍取材・編集費、製本・発送費
事務費・発送費	300,000	会議資料作成費、案内状等印刷・発送費
支払手数料	70,000	年会費等振込口座手数料
通信費	18,000	1,500円×12月
交通費	135,000	本部・他支部総会等交通費、幹事会交通費
事務所利用料	120,000	10,000円×12月
文部ホームページ 管理費	30,000	ホームページ維持管理費
慶弔費	60,000	他支部総会祝儀、香典
予備費	67,000	
当期支出計	2,695,000	
前期繰越収支差額	3,846,390	
当期収支差額	0	
次期繰越収支差額	3,846,390	

令和6年度 観一高 同窓会京阪神支部 役員名簿

会 長	理 事	年次幹事
観一 22回 小山 正辰	観一 15回 中野 祥蔵	観一 1回 井上 理文 *
名誉会長	観一 16回 大西 和明	観一 3回 大西 玲子
観一 9回 守谷 公男	観一 17回 白石 憲二	観一 4回 細川 利久 * 井崎 昌代
観一 10回 片桐 陽	観一 19回 田中 道雄	観一 5回 大平 俊平 * 牧野 孝明 *
副会長	観一 20回 多田 健治	〃 森口 郁子
観一 15回 大西 寛文	観一 21回 萩田 清	観一 6回 加嶋 廣繁 佐藤 益子
観一 20回 鎌倉 史郎	観一 22回 秋山 茂之	観一 7回 清村 善三 真鍋 良子
観一 25回 真野 毅	観一 25回 長野 寛之	観一 8回 畠中 康行 * 泉 妙子
相談役	観一 26回 行天 久朗	観一 9回 合田 房雄 * 西庄 俊三 *
観一 14回 高橋 憲一	観一 34回 上田 憲	観一 10回 三宅 潔 * 大西 富子
顧問		観一 11回 渡辺 紘一
観一 1回 山田 朝雄	幹事長	観一 12回 奥藤 和
観一 4回 細川 利久	観一 16回 藤田 修一	観一 13回 加島 聰 高井 洋蔵
観一 8回 畠中 康行	副幹事長	観一 14回 久保 諭 * 高橋 憲一 *
〃 矢野 一之	(編) 観一 23回 山下恵利子	〃 川内 清子 山口 千代
観一 9回 石部 勝	(総) 観一 24回 秋山 寿之	観一 15回 西村 淳一 野口 泰孝
〃 西庄 俊三	(事) 観一 32回 森 広志	観一 16回 大塚 博範 中西 豊
観一 11回 小野 喬啓	幹事	〃 大西 和明 *
〃 合田 洋一	観一 21回 田井 浩一	観一 17回 小出 道秋 森 正樹
監事	観一 23回 高橋 俊二	〃 小森 美智子 藤本 陽子
観一 24回 石川 恒	観一 25回 原 昌三	観一 18回 * 今川 美佐子
理事	観一 27回 川下 正輝	観一 19回 田中 道雄 * 瀧本 通代
観一 1回 井上 理文	観一 31回 大塚 良太	観一 20回 三木 明德
〃 岩田 光晴	〃 徳永真美衣	〃 妹尾 満里子 高橋 恵美子
観一 3回 田岡 稔	観一 47回 木下 幹支	観一 22回 平山 文夫 芳地 英代 *
観一 5回 大平 俊平	観一 54回 安藤 秀昌	観一 23回 高橋 俊二 * 山下 恵利子 *
〃 牧野 孝明		観一 24回 秋山 寿之 * 石川 真理子
観一 6回 多田 康二	当 観一 26回	〃 浜辺 昌子
観一 7回 長谷川光雄	次	観一 25回 長野 寛之 * 原 昌三 *
〃 堀野 廣	(事) …事務局担当	観一 26回 行天 久朗
観一 8回 永田 寛	(編) …巨龍の編集担当	観一 27回 川下 正輝
〃 三宅順二郎	(総) …総会担当	観一 28回 佐伯 隆
〃 大岡 暉子	当 …総会の今年度当番幹事	観一 29回 長野 哲夫
観一 9回 合田 房雄	次 …総会の次年度当番幹事	観一 30回 島田 淳志
観一 10回 高津 光雄		観一 31回 大塚 良太 * 徳永真美衣 *
〃 三宅 潔	☆お名前の方々は 新任または異動の方々	観一 32回 森 広志
観一 11回 合田 厚生	☆年次幹事で*印の方は兼務	観一 33回 前谷 雅之
〃 高橋 芳子		観一 34回 上田 憲
観一 12回 中島 征夫		観一 35回 庄司 正人
〃 三好 正則		観一 36回 矢野 善之
観一 13回 岩倉 煌一		観一 37回 久保 秀夫
〃 曾根 英樹		観一 38回 原 慎一郎
観一 14回 久保 諭		観一 39回 片山 元彦
		観一 41回 卜部 仁一
		観一 47回 木下 幹支 *
		観一 54回 安藤 秀昌 *

香川県立三豊中学校校歌

堀沢 周安 作詞
若狭萬次郎 作曲

一、長瀬寄する燧灘

彩雲なびく巨龍山
海山遠く見渡して

聳え立ちたり我が校舎

三豊の平野草も木も

直なる中に顕れて

己が力を伸ばし行く

若き益荒雄茲にあり

二、財田川のさらさらと

流るる水を顧みて

吾等も絶えず体を鍛へ

いよよ磨かん智を徳を

松風清き琴弾の

神の御前に額づけば

木の間の月は進むべき

道を照らして光あり

香川県立三豊高等女学校校歌

器にはしたがひながら巖をも

とほすは水のちからなりけり

この秋は嵐か雨かしらねども

けふのつとめに田草とるなり

敷島の大和錦に織りてこそ

からくれなるの色もはえあれ

香川県立観音寺第一高等学校校歌

脇 太一 作詞
服部 正 作曲

一、青雲匂ひ 陽に映ゆる

二、大瀬戸清き 新潮に

三、財田の流れ 澄むほとり

さぬき山脈 仰ぎつつ

若き日の幸 歌ひつつ

文化豊かに 啓きつつ

叡智のひとみ さわやかに

智徳をみがき 身をきたへ

真理をもとめ 澆刺と

憧がれ強く 羽ばたきて

誠は篤き 友愛に

理想に挙る 眉あげて

集へり生命 若きもの

伝統花と 咲きかほる

高邁自主の 道を往く

我等に燃ゆる 希望あり

我らに高き 矜恃あり

我らに重き 使命あり

学園の歌

藤田 邦衛 作詞
小野 清吉 作曲

一、朝日に映ゆる巨龍山

二、野をさ緑に彩りて

三、琴弾く磯の松風に

夕日は燃ゆる燧灘

滔々とゆく財田川

北斗の影は清く冴え

ここ西讃の一角に

涯なき流れを望みつつ

仰ぐ瞳に夢熱く

集いて謳わん 学園の

集いて建てん 学園の

集いて讃えん 学園の

あゝ 歓びの黎明を

あゝ 輝ける伝統を

あゝ 永久の栄光を